

刷新に努力した。

副校長、教頭、主事等の退職者の後任および校長に昇任した教頭の後任補充人事によって、副校長1名、教頭12名、定時制主事6名が新任または転補された。これら管理職の人事に当っては、定時制教育関係、特殊教育関係等広く人材を求めて抜き登用し人事の刷新をはかったものである。

(3) 交流について

今年度末人事は教員の人材確保のための新採用が中心となったのであるが、多数の新任教員採用による年令、経験年数等の均衡のための異動に加えて、都市と町村所

在校間、全日制と定時制間の交流、および同一校相当年数勤続者の交流にもつとめ、その件数は130におよんだ。

また、事務職員については生徒急増にもかかわらず定数増ができないので困難な状態にあるが、創意くふうによる事務執行の改善と事務能率の向上をはかるために、一部定数の再配分も行ない、その上適材を適所に配置することに意を用い、異動数も60件の多数にのぼった。また、事務職員に明るい希望を与えるために、とくに人事委員会の議を経て三等級および四等級事務長への昇格9件、四等級会計主任格付3件の実現をはかり、その優遇措置に努力した。

7 異 動 数

昭和39年度末県立学校教職員退職採用転任件数調

異動種別 職種別	1 退 職					2 採 用					3 転 任					総 計
	校長	教員	校長 教員	計 事務 職員	計	校長	教員	校長 教員	計 事務 職員	計	校長	教員	校長 教員	計 事務 職員	計	
学校種別																
高 校	8	67	75	13	88	8	273	281		281	9	316	325	60	385	754
盲 学 校																
ろ う 学 校		3	3	1	4	1	2	3		3	1	5	6	4	10	17
養 護 学 校		2	2		2		8	8		8		3	3		3	13
市町村立高校							1	1		1		3	3		3	4
小 計	8	72	80	14	94	9	284	293		293	10	327	337	64	401	788

第3節 学校の設置および統廃合

昭和39年度は、公立義務教育諸学校の学級編制並びに教職員定数の標準に関する法律が改正され、小学校における複式学級は1学級25人に単級学級は1学級15人に、また中学校においては複式学級、単級学級ともに1学級25人に学級編制基準が改善された。このため、児童数100名前後の小規模校も各学年単式学級に編制されることになったので、多年、分校を独立した本校としたい希望をもっていた市町村教育委員会は、本校に昇格するような設置廃止届が多かった。

一方県教育委員会は多年にわたって小規模校を少なくし適正規模による充実した設備と内容をもつ小中学校の設置を奨励してきた。幸い道路の改善、交通機関の発達スクールバス等の運行により一層学校統合の実があがった。

幼稚園については幼稚園教育振興計画に基づき幼稚園を新設する市町村が多くなった。

昭和39年度の関係で、新設、統合、廃止した学校は次のとおりである。

1 新設公立幼稚園

管 内	新 設 幼 稚 園 名
伊 達	伊達郡伊達町立伏黒幼稚園
安 積	安積郡熱海町立安子島幼稚園
西 白 河	西白河郡東村立東幼稚園
南 会 津	南会津郡下郷町立下郷幼稚園

2 統合による公立小中学校の設置廃止

管 内	統 合 学 校 名	廃 止 学 校 名
東 白 川	東白川郡埴町立真名畑小学校	東白川郡埴町立高城小学校真名畑分校
		東白川郡埴町立高城小学校入山分校
北 会 津	耶麻郡猪苗代町立猪苗代中学校	耶麻郡猪苗代町立翁島中学校
		耶麻郡猪苗代町立千里中学校
		耶麻郡猪苗代町立猪苗代中学校